

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2019-195491 (P2019-195491A)

【公開日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-046

【出願番号】特願 2018-91310 (P2018-91310)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 5 日 (2021.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

第 1 面と第 2 面に配線パターンが形成された基板を備え、

前記基板は、基板ケースに収納された状態で前記遊技機に取り付けられ、

前記基板の前記第 1 面には前記基板外部からの配線を取り付けるためのコネクタが実装され、

前記コネクタの端子は前記第 2 面に形成された配線パターンと接続され、

前記基板には、第 1 電圧の信号を伝達する配線パターンが接続され、記憶手段を有するマイクロコンピュータと、第 2 電圧の信号を伝達する配線パターンが接続され、出力部品に信号出力する出力回路と、が実装され、

前記マイクロコンピュータは第 1 グランドに接続され、前記出力回路は前記第 1 グランドと絶縁部によって隔てられた第 2 グランドに接続され、

前記マイクロコンピュータは、特定電源により前記記憶手段の記憶内容を保持可能であり、

前記特定電源を前記マイクロコンピュータへ供給する配線パターンは、前記第 2 グランドが形成される第 2 グランド領域に接することなく、前記第 1 グランドが形成される第 1 グランド領域のみに接する領域に形成されている、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段 1 の遊技機は、

遊技が可能な遊技機であって、

第 1 面（実装面）と第 2 面（ハンダ面）に配線パターンが形成された基板（遊技制御基板）を備え、

前記基板（遊技制御基板）は、基板ケースに収納された状態で前記遊技機に取り付けられ、

前記基板（遊技制御基板）の前記第１面（実装面）には前記基板外部からの配線を取り付けるためのコネクタ（コネクタＣＮ１～ＣＮ７）が実装され、

前記コネクタ（コネクタＣＮ１～ＣＮ７）の端子は前記第２面（ハンダ面）に形成された配線パターンと接続され、

前記基板には、第１電圧の信号を伝達する配線パターンが接続され、記憶手段を有するマイクロコンピュータと、第２電圧の信号を伝達する配線パターンが接続され、出力部品に信号出力する出力回路と、が実装され、

前記マイクロコンピュータは第１グラウンドに接続され、前記出力回路は前記第１グラウンドと絶縁部によって隔てられた第２グラウンドに接続され、

前記マイクロコンピュータは、特定電源により前記記憶手段の記憶内容を保持可能であり、

前記特定電源を前記マイクロコンピュータへ供給する配線パターンは、前記第２グラウンドが形成される第２グラウンド領域に接することなく、前記第１グラウンドが形成される第１グラウンド領域のみに接する領域に形成されている、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、コネクタの端子がコネクタが実装された第１面ではなく、反対側の第２面に形成された配線パターンと接続されるので、基板ケースよりコネクタが露呈する部分の周囲からコネクタの端子に接続される配線パターンを短絡させたり断線されたりする不正行為を防止することができる。